

平成 28 年度第 1 回  
千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会  
あんしんケアセンター等運営部会議事録

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 23 日(月) 午後 7 時～午後 8 時 3 0 分
- 2 場 所 千葉中央コミュニティセンター 8 階千鳥・海鷗
- 3 出席者 (委 員) 畔上加代子、池田孝子、坂本広人、砂川豊、高野喜久雄、太齋寛、土屋稔  
西尾孝司、広岡成子、福留浩子、松崎泰子、和田和子、綿貫登美子  
(委員 14 名うち 13 名出席) (敬称略)
- (事務局) 高齢障害部長、高齢福祉課長、地域包括ケア推進課長、高齢施設課長  
介護保険課長、保健師活動推進担当課長、地域包括ケア推進課長補佐  
他 8 名
- 4 議 題
- (1) 平成 2 7 年度あんしんケアセンター運営実績について
  - (2) 介護予防支援事業の委託について
  - (3) 地域密着型サービス事業者の指定等について (報告事項)
  - (4) 平成 2 8 年度地域密着型サービス事業者の募集について (報告事項)
  - (5) 千葉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について (報告事項)
  - (6) 【非公開】地域密着型サービス事業所の廃止等について (報告事項)
  - (7) その他
- 5 議事の概要

議事に先立ち、会議の議題 (6) は非公開、であることを確認した。

- (1) 平成 2 7 年度あんしんケアセンター運営実績について  
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (2) 介護予防支援事業の委託にについて  
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (3) 地域密着型サービス事業者の指定等について (報告事項)  
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (4) 平成 2 8 年度地域密着型サービス事業者の募集について (報告事項)  
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (5) 千葉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について (報告事項)  
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (6) 【非公開】地域密着型サービス事業者の廃止等について (報告事項)  
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (7) その他  
事務局より連絡事項を伝えた。

## 6 会議経過

|                     |   |
|---------------------|---|
| <p>松崎部会長</p>        | <p>議事に先立ち、事務局より会議は議題6が非公開であることを確認し、その後、部会長が議長となり議事を進行した。</p> <p>～議題1 公開議事～</p> <p>平成27年度あんしんケアセンター運営実績について<br/>(富田地域包括ケア推進課長より、議題1 平成27年度あんしんケアセンター運営実績について説明を行った)</p> <p>議題1についての質疑応答</p> <p>ご報告いただきました、平成27年度あんしんケアセンター運営実績について、ご質問はございますでしょうか。</p>   |
| <p>綿貫委員</p>         | <p>1点目ですが、あんしんケアセンター運営事業実績一覧の、花見川区の花園と幕張の高齢者人口と高齢化率の数値が同じになっていますが、これはそっくり同じということなのでしょうか。</p> <p>2点目ですが、1ページ表1総合相談内容別件数で、「その他」の項目が26年度は19.1%だったのに対して、27年度は20パーセントと、その他の項目が多いことが気になりました。</p> <p>3点目ですが、総合相談事業で「民生委員やケアマネジャーからの相談が増加しています」と記載がありますが、相談の内訳は、直接センターから訪問していく場合と、来所される場合、電話での相談等もあると思いますが、どのような内訳になっているのでしょうか。また、虐待の場合は、近隣からの通報や訪問して発見する等の分類は、今まではなかったのでしょうか。</p> <p>4点目ですが、2ページ表2について、829人のチェックリスト実施者の選び方ですが、どのような選び方をされたのか、教えていただきたいと思います。</p> |
| <p>富田地域包括ケア推進課長</p> | <p>まず1点目の花見川区のあんしんケアセンター花園と幕張の数値についてですが、これは転記ミスです。参考資料も全く同じように誤ってしまっておりました。会議資料を公表する際に、正確な数値を記載させていただきたいと思います。申し訳ございません。</p> <p>2点目ですが、実績の部分での「その他」ですが、あんしんケアセンターの本来の業務として、掲げているのが、「その他」以外に記載した、表1総合相談内容別件数の項目にある、相談内容になっています。それに当てはまらないものが、これまで「その他」という項目になっています。個別に集計することも現在検討しております。今</p>  |

|              |  |
|--------------|--|
|              | <p>年度は「その他」というかたちで、一部内容をご紹介させていただきましたが、次年度以降、細かくお示しできるように工夫していきたいと思っております。</p> <p>3点目ですが、民生委員やケアマネジャーからの相談ですが、実際には総合相談の内訳が、もう少し詳しくわかっている部分もあります。その辺も詳しく提示できるかどうか、今後検討させていただきたいと思います。そして、虐待につきましては、別に高齢障害部で、施設からの相談や家族間での問題等の統計数字があります。また、あんしんケアセンターと一緒に、虐待問題を進めていくという考えもあります。部会への提示として、詳細を公表できるかどうか、あんしんケアセンターと協議して参りたいと思います。今現在、地域包括ケア推進課では、虐待に関して細かい分類というのはできておりません。</p> <p>4点目ですが、基本チェックリストは、一昨年度まで3年間で65歳以上の全員に届くよう、全戸送付という形態をとっておりました。昨年度からは基本チェックリストの送付については、65歳到達時に介護保険の被保険者証とともにお送りする形です。一般的には、その手元に基本チェックリストが届いた時点での、ご自身の健康状態をよく知っていただく目的で、現在は使っております。あんしんケアセンターが二次予防事業の参加につなげることで、現在よりも、良い心身の状況になるのではないかと思った方に、基本チェックリストにご協力をいただいて、その結果をもって二次予防事業につなげるという形態をとっておりますので、829人という数字になっております。</p> |
| 松崎部会長        | <p>私も「その他」の件数が多いことは気になりました。民生委員からの相談や介護に関わる家族問題等が多ければ、もう少し項目出ししてもいいかなと感じましたが、いかがでしょうか。</p>   |
| 富田地域包括ケア推進課長 | <p>相談内容は多岐にわたってしまっていて、嫁姑問題にしても、兄弟間のものであっても、家族関係という面では、まとめられるかもしれませんので、分類については、工夫して参ります。相談の中には、結婚相談であったり、家の売却であったり、分類が難しい細かいご相談も増えており、あんしんケアセンターの認知度が上がるにつれ、本当にささやかなご相談もいただけるようになってきました。</p>  |
| 松崎部会長        | <p>虐待の相談は、民生委員から直接連絡が来たのか、職員が訪問して、虐待がわかったのか、関係機関からの連絡なのか、施設内での虐待疑いなのか、色々な相談ルートがあると思いますが、ここでの数値は、地域の方や民生委員から連絡があったものだけですよね。</p>   |
| 富田地域包括ケア推進課長 | <p>いろいろなパターンがありますがけれども、多くは、民生委員からの相談や近隣の方から怒鳴り声が聞こえる、少しあざがあるという形でのご相談、ちょっと様子を見に行ってもらえませんかというようなご相談が多くあります。</p>   |

|              |   |
|--------------|---|
| 松崎部会長        | よろしいでしょうか。そのほかご意見とかあればお願いします。   |
| 畔上委員         | 私は、何か困ったら、あんしんケアセンターに相談したらと伝えています。「その他」の数字が分析しづらいことは、あんしんケアセンターが頼りにされていることだと思っておりますので、あまりカウントについて、細かく分析することにこだわりはありません。   |
| 松崎部会長        | その他、質問はありますか。   |
| 綿貫委員         | あんしんケアセンター運営事業実績一覧についてです。高齢化率が42.67パーセントの大宮台は、他の圏域よりも高齢化率がとても高いと思いますが、ここに千葉市の運営方針をそのまま大宮台に当てはめてよいのかどうか。圏域毎に、固有の問題が出てくるのではないかと思います。大宮台は高齢化率が42.67%でも高齢者人口は7,639人と人口は少なく、高齢化率は高いという傾向や、一方で、桜木は高齢化率が23.78%でも高齢者人口は14,292人と、高齢者は多いが高齢化率は大宮台ほど高くないというような状況をみると、あんしんケアセンターが何をテーマに活動すべきなのか、運営事業実績からみえてくるデータもあると思います。この表の中で、重点的に取り組んだ項目を参考に個別に集計してみると、認知症サポーター養成講座7センター、成年後見制度3センター、シニアリーダー関連3センター、交流会・研修会5センター、広報誌作成3センター、体操教室2センター、通いの場1センターとなります。センターの独自性や、高齢化率に合わせて何に取り組むべきなのかというような、そんな分析をすることはないのでしょくか。暮らしている住民からしてみると気になることではないかと思います。 |
| 富田地域包括ケア推進課長 | あんしんケアセンター24圏域それぞれの地区特性は、一生懸命地域を歩いて、把握をしております。今回の5ページ事業実績では、その中でも、あんしんケアセンターが昨年度熱心に取り組んだアピールポイントを記載しております。実際には広報誌などもすべてのあんしんケアセンターで何らかのかたちでつくっておりますし、体操教室も、一昨年度に、地域の大規模な商業施設の前で定期的にラジオ体操をやりました、というような記載がありましたが、それは一昨年度のトピックスであって、今年度は、昨年度とはまた違うことに、取り組んだ内容を記載しておりますので、統計としてご覧いただくには、心もとないデータであると思っております。けれども、前回の本部会で紹介いたしました、事業計画でも、あんしんケアセンターが本市の運営方針に従って、今年度は何に積極的に取り組むか、今まで不得手としてきたところに挑戦したいというような意気込み等を、地区特性をつかみながら提出してきたと認識をしております。あんしんケアセンターとの情報交換も密接におこなっており、今年度は、特に地域ケア会議にも積極的に出向くというスタンスをとっておりますので、そ                         |

|                  |  |
|------------------|--|
| <p>松崎部会長</p>     | <p>の中で、地域の住民の皆様方の声も、直接お伺いしながら、あんしんケアセンターと一緒に地域の特性にあった活動をしていきたいという風に考えているところです。</p> <p>ありがとうございました。自分のセンターのセールスポイントやイベント的な取組等を記載いただいたということなので、統計という形では集約しにくいというところがありますね。それでは、以上で平成27年度のあんしんケアセンターの実績について終わりにしたいと思います。</p> <p><b>～議題2 公開議事～</b></p> <p><b>介護予防支援事業の委託について</b><br/> (富田地域包括ケア推進課長より、議題2 介護予防支援事業の委託について説明を行った)</p> <p>(質問、意見等なし)</p> <p><b>～議題3 公開議事～</b></p> <p><b>地域密着型サービス事業者の指定等について (報告事項)</b><br/> (八巻高齢施設課長より、議題3 地域密着型サービス事業者の指定等について (報告事項) 説明を行った)</p> <p>議題3についての質疑応答</p> |
| <p>松崎部会長</p>     | <p>ご報告いただきました地域密着型サービス事業者の指定について、ご質問はございますでしょうか。</p> <p>特にないようでしたら、平成28年3月2日から5月1日までに指定した4事業所については、以上でよろしいでしょうか。</p>   |
| <p>綿貫委員</p>      | <p>資料10ページの「地域密着型通所介護から (介護予防) 認知症対応型通所介護に移行した件について、通所介護の利用者にとっては、認知症対応型へ移行しても大きく変わりはなかったのでしょうか。地域密着型サービスの中でも、地域密着型通所介護と介護予防では違うのではないのでしょうか。</p>   |
| <p>志賀高齢施設課主査</p> | <p>地域密着型通所介護とは、要介護者の方だけが利用でき、かつ定員数が18人以下という小さなデイサービスになります。</p> <p>それに対して、今回移行した (介護予防) 認知症対応型通所介護は、認知症の方専門のデイサービスであり、定員数は12人以下でございます。また、認知症対応型通</p>  |

|                  |  |
|------------------|--|
|                  | <p>所介護は要支援の方も利用できます。今回は、移行の際には要介護の方で認知症の方が12人以下でしたので、当時の利用者が、そのまま認知症対応型を引き続き利用するというかたちになりました。</p>  |
| <p>鳩川高齢障害部長</p>  | <p>利用者の状況に応じて、運営体制を考えたということですね。</p>  |
| <p>松崎部会長</p>     | <p>「介護予防」と記載されているので、少し紛らわしいですね。<br/> その他に何かございますでしょうか。<br/> それでは、指定更新の分でございますが、事業所の指定更新について4件、また、実地検査を行った際の感想を聞きまして、更新の報告というかたちになりますが、よろしいでしょうか。</p>   |
|                  | <p align="center"><b>～議題4～ 公開議事</b></p> <p><b>平成28年度地域密着型サービス事業者の募集について（報告事項）</b><br/> （八巻高齢施設課長より、議題4 平成28年度地域密着型サービス事業者の募集について（報告事項）説明を行った）</p> <p>議題4についての質疑応答</p>  |
| <p>松崎部会長</p>     | <p>それではまず、千葉市の地域密着型サービス事業者の公募についてですが、いかがでしょうか。このようなスケジュールで、今のところグループホームで3事業所、看護小規模多機能型及び小規模多機能型で3事業所が応募しているという報告を受けました。</p>  |
| <p>畔上委員</p>      | <p>整備数がまだまだ不足しているということのようですが、グループホームには結構空きがあるという現状がある一方で、ショートは不足しているわけです。そういったこともあり、整備状況の数字は本当に現状と一致しているのでしょうか。<br/> もう1点は、医療行為が必要な方は、グループホームに看護師がいないため、他の施設に利用者をとられてしまうわけです。そういう条件があるので、本当に医療行為が必要な方が入所できず、しかし施設に空きがあるという現状があるということを報告させていただきました。</p> |
| <p>志賀高齢施設課主査</p> | <p>グループホームに関しては、足りているという認識は持っておりません。確かに空いている事業所もございます。ただ、一方で待機者が列を作っているグループホームも多く、全体としては足りないという認識しておりまして、第6期介護保険事業計画に基づき整備を進めてまいりたいと考えています。<br/> ただ、医療行為の問題につきましては、私どもにも相談が増えたことは事実でござ</p>   |

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p>ざいまして、それに関しては制度の狭間にあるということもありますので、今後の対応については、国の動向を見ながら検討してまいりたいと考えています。以上です。</p>   |
| 松崎部会長     | <p>医療行為が必要な場合は、グループホームですと訪問で対応できるのでしょうか。</p>  |
| 畔上委員      | <p>看護師さんがいないと、運営が回らないです。定期巡回サービスもそうですが、撤退したセントケア巡回ステーション美浜については、社長さんから相談されたのですが、やむなく撤退したということもありますので、どういった要件で撤退せざるを得なかったのかということです。初期投資をしているわけですね。非常に熱い思いでおつくりになったので、撤退するという要件の中で、また募集する時に、金銭的なことではなく、何か情報等があるのではないかと、資料13ページの説明の時にも思っていました。</p> <p>たしかに入りたいという要望の人はいると思うのですが、医療行為ができなかったり、ターミナルまで看てもらえないということから、お帰りになった方もいらっしゃいます。やはり、基本的には病院に行く必要があるとは思いますが、その間に、認知症の方にもう少し手厚い支援がないのかと思います。</p>  |
| 広岡委員      | <p>畔上さんがおっしゃったように、おそらくグループホームは質のばらつきが非常に多いのではないかという気がします。ですから、空いているところはあって、一方であるグループホームに行くと、何人も待機者がいるという状況です。ご家族の方にも責任があるとは思いますが、もしかしたら、入る際にグループホームの理念等をしっかり認識して入らないご家族もいらっしゃるのかもしれませんが、ですが、とは言いながら、「どこでも良いから今入れてほしい」という方もいるのです。ですから、例えばグループホームの質は外部評価に入っておりインターネットで公開されていますが、入る時にターミナルまで看てもらえるのか、あとは信頼関係でしか成り立っていないグループホームあるかもしれませんので、できれば高齢施設課で、文章だけではなく何かのかたちでそういった内容を示すことはできるのでしょうか。</p>      |
| 志賀高齢施設課主査 | <p>行政といたしましては、やはり措置ではありませんので、どの事業所がどういった評価をされているかについての情報提供は、行政からは差し控えさせていただきたいと思えます。ただ、現在は認知症に関しては指導者研修を行ってまして、指導者を養成して、そこから更に教え子を養成していくというかたちをとっております。指導者研修も第2世代、第3世代までできており、徐々に広がっておりますので、そういった研修を通して質の向上に結びつけていきたいと考えております。</p> <p>また、医療行為につきましては、やはり制度上の狭間にありまして、現行の介護保険サービスで一番近いのが、訪問看護と介護老人保健施設でございますが、それにつきましては、地域医療の方の地域包括ケア病棟との役割分担の問題もありまして、これから調整を図っていこうと考えておりますので、第7期計画に向けて今後抽象的な</p> |

|              |  |
|--------------|--|
|              | <p>議論をしてみたいと考えております。以上です。</p>  |
| <p>松崎部会長</p> | <p>太齋さん、市民から見ると、どのグループホームを選べば良いのか判断に困ってしまいますよね。</p>  |
| <p>太齋委員</p>  | <p>発言しにくいところではありますが、グループホームは、地域密着型になる前は元々広域型サービスとして始まり、今は地域密着型ということで、やはり地域密着型になる前から始まったところと地域密着型になってから始まったところでは、事業運営の仕方や考え方に少し差があるかもしれません。また、グループホームも認知症の方を受け入れるというところから、認知症の方を支える専門の拠点として、中にいる方だけではなく、せつかくこれだけ地域の中に細やかに認知症の専門施設があるとする、そこがどう中心となって近隣の住民やあんしんケアセンターなどと連携して、認知症を理解し、その延長線上に支援や自宅近くで最後まで看られるというかたちを作っていくかといけないですし、事業所としても少し襟を正さなければいけない部分があると思っています。他の自治体によっては、グループホームに合わせて補助金を投入して、地域交流スペースを併設しているところも過去にありましたので、いくつか地域との接点を意図的に設定して行っている自治体もあります。事業所側の意識改革も当然必要ですし、それに対して、整備計画の中でグループホームにどんな役割を果たしてもらいたいのか、もう少し明確にした方が良いと思います。たしかに、選ぶ住民側からすれば、どのグループホームが良いのか分からないですし、利用しなすのもなかなか難しいところでもあります。そこは、あんしんケアセンターの事業が増えて大変だとは思いますが、市民の目をどう育てていくかがこれからの取組みとして大事だと感じます。</p> |
| <p>松崎部会長</p> | <p>それでは、事務局からご報告いただきました公募についてと、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は応募事業者がいなかったため再募集をかけるということでしょうか。</p> <p>随時募集については、千葉市全域で年3回、このような日程で募集するという報告でございました。</p> <p>以上ですが、このようなかたちで募集をするということでしょうか。</p> <p><b>～議題5～ 公開議事</b></p> <p><b>千葉市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について（報告事項）</b></p> <p>（八巻高齢施設課長より、議題5 千葉市指定地域密着型サービスの人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について（報告事項）説明を行った。</p>   |



|              |   |
|--------------|---|
|              | 議題5についての質疑応答  |
| 松崎部会長        | 小規模な事業所が地域密着型へ移行するということで、千葉市の条例を改正するというのでよろしいでしょうか。   |
| 八巻高齢施設課長     | はい、その通りでございます。  |
| 松崎部会長        | 資料「1 改正する条例」にある千葉市条例第66号の一部ということですね。  |
| 八巻高齢施設課長     | はい。これまでの条例で通所介護として残っていた一部分を、地域密着型の条文へ組み入れるということでございます。  |
| 松崎部会長        | そのようなご提案でございまして、7月1日からの改正のスケジュールとしては、パブリックコメントを実施し、議会に上程するというのでございます。<br>以上でよろしいでしょうか。  |
|              | ～議題6～ 非公開議事   |
|              | ・・・非公開のため、発言内容も非公開  |
|              | ～議題7～その他について  |
|              | 事務局より、あんしんケアセンター増設に向けての進捗状況を説明する。   |
| 富田地域包括ケア推進課長 | 現在のあんしんケアセンター24か所を、平成29年4月に30か所に増やすための準備を進めております。5月19日(木)、20日(金)に公募説明会を開催いたしました。今回の公募に応募いただくためには、この説明会への出席を必須要件としております。2日間合わせまして、34法人の出席がありました。この際に、参入意向調査をさせていただき、すべての圏域に、1法人以上の参入意向があるという結果になりました。今後の予定ですが、5月26日に本市のホームページ上に各圏域の参入意向のある法人の数のみを掲載し、応募の参考にしていただくこととしております。また、公募説明会が終わりました5月20日(金)の午後から、6月6日(月)の午後5時まで質問を受け付けております。順次ホームページ上で回答するというスタイルで行わせていただきます。その後、6月14日(火)から6月20日(月)まで応募書類の受付を行います。受付後に、応募書類の点数化と一次選考を実施いたしまして、7月下旬には書類審査の結果を発送する予定です。その際、一次選考通過者についてヒアリングを実施してまいります。この7月末以降に行いますヒアリングで本部会の委員の先生方にご協力を賜りたく存じます。その後、11月中旬には結果通知 |

|              |  |
|--------------|--|
| <p>土屋副部長</p> | <p>を発送する、そのような段取りで考えています。今後も詳細な日程につきまして、随時ご案内させていただきますので、何卒よろしくお願いたします。</p> <p><b>土屋副部長から小学生向け福祉冊子「やさしい気持ち」について説明する。</b></p> <p>介護サービス事業者の方から、介護や福祉の人材が不足しているという相談を、直接いただいています。今の子どもたちに、将来なつてみたい職業を聞くと、パイロットや医者等、様々な職業が出てきますが、福祉職はほとんど出てこない現状にあります。介護人材確保のために、長い目を見て、まずは小学生に、優しい気持ちを持ってもらうことから始めるために、この冊子を作成しました。作成にあたっては、畔上委員や鳩川部長、教育委員会等、様々な方にご協力いただきました。市内の小学4年生に道徳の時間を何回か利用し、授業に取り入れることになりました。出てきた反省点を取り入れ、毎年毎年リニューアルしながら配布していこうと考えています。また、この冊子は共同募金のお金を使っています。共同募金総額が下がっている原因に用途が明確になっていない、どのようなところに使われているのかがわからないという声に答えるために、今後も共同募金を使って、毎年作っていこうと思っています。うまくいけば中学や高校にも発展するよう期待しています。基本的には原版の権利は社会福祉協議会にありますので、他の自治体で使用する場合は、全部無償で提供しようと思っております。他の自治体で使用する場合は千葉市の部分を変更して、内容はそのままに使用していただいて、少しでも福祉の道に進む子供が増えることを願っています。みなさんもお気づきになりました点がございましたら、ご連絡ください。</p> |
| <p>畔上委員</p>  | <p>様々な市の方が、このようなことに取り組んでいただけると、千葉県は介護職が少しずつ芽生えてくるのかなと思っております。ぜひたくさんの方が、介護職、看護職を目指していただきたいと思っておりますので、応援をしていただきたい。</p> <p><b>全ての議事について説明、質疑応答、承認が終了し閉会となる。</b></p>   |